

作成：平成 13 年 10 月 30 日

最終改訂：令和 4 年 4 月 28 日

整理番号 02960

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

製品名（化学名、商品名等）

**Silicon Mold Release**

シリコンモールドリリース

販売者情報

会社 LECO ジャパン合同会社

住所 〒105-0014

東京都港区芝 2 丁目 13 番 4 号

住友不動産芝ビル 4 号館

担当 SDS 担当者

電話番号 (03) 6891-5800 FAX 番号 (03) 6891-5801

製造者情報

会社 LECO Corporation

住所 3000 Lakeview Avenue

St. Joseph, Michigan 49085, U.S.A.

## 2. 危険有害性の要約

GHS 分類

- 物理化学的危険性 : エアゾール 区分 1
- 健康に対する有害性 : 眼に対する重篤な損傷性/目刺激性 区分 2B  
特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分 3(麻酔作用)
- 環境に対する有害性 : 水生環境有害性 短期(急性) 区分 3  
水生環境有害性 長期(慢性) 区分 3

ラベル要素

絵表示:



注意喚起語: 危険

危険有害性情報: 極めて可燃性又は引火性の高いガス。眼刺激、眠気又はめまいのおそれ。  
水生生物に有害。長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

- 安全対策： 熱、火花、裸火、高温の物のような着火源から遠ざけること。喫煙をしない。裸火、又は他の着火源に噴霧しないこと。使用後も含め穴をあけたり燃やしたりしないこと。保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。取り扱い後は手を洗うこと。粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーの吸引を避けること。屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
- 応急措置： 吸引した場合、空気の新鮮な場所へ移動させて呼吸しやすい姿勢で休息させること。眼に入った場合、多量の水で数分間注意深く洗い、コンタクトレンズをしていて容易に外せる場合は外し、洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は医師の診断、手当てを受けること。
- 保管： 日光を避け、50℃以上の温度に暴露しないこと。密閉して換気の良いとことに保管すること。施錠して保管すること。
- 廃棄： 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理専門業者に業務委託すること。

### 3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物		
化学名	ジメチルエーテル	1,1 ジフルオロエタン	ジメチルポリシロキサン
成分および含有量(wt%)	55-65	35-45	1-5
化学式又は構造式	C <sub>2</sub> H <sub>6</sub> O	C <sub>2</sub> H <sub>4</sub> F <sub>2</sub>	(C <sub>2</sub> H <sub>6</sub> O <sub>2</sub> Si) <sub>n</sub>
官報公示整理番号			
	化審法	2-360	2-86
	安衛法	対象外	対象外
	PRTR 法	対象外	対象外
C A S No	115-10-6	75-37-6	63148-62-9
国連分類及び国連番号	1033 クラス 2.1	1030 クラス 2.1	—

### 4. 応急措置

- 吸入した場合： 空気の新鮮な場所へ移動させ呼吸しやすい姿勢で休息させること。必要に応じて酸素吸引又は人工呼吸をすること。気分が良くない場合は医師を呼ぶこと。
- 皮膚に付いた場合： 製品の付着した衣服を脱ぎ、再利用する前に洗濯すること。すぐに石鹸と多量の水で洗う。症状が悪化、継続する場合は医師に相談する。
- 目に入った場合： すぐに多量の水で最低 15 分間洗浄する。コンタクトレンズをしていて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合	： 医師を呼ぶこと。無理に吐かせようとしない。意識の無い者やけいれんのある者には口に何も与えないこと。
急性症状及び遅発性 症状の最も重要な兆 候症状	： 入手不可
応急措置及び特別注 意事項	： 症状に合わせた一般的な対症療法を行う。被害者を監督下に置く。 症状が遅れることがある。
一般情報	： 関連製品の情報を医療関係者へ周知し、適切な予防措置を取る事。

## 5. 火災時の措置

消火剤	CO <sub>2</sub> 、乾燥粉末、泡、水
使ってはならない消火剤	知られていない
火災時の特有の危険有害性	加熱や火に暴露された場合、加圧された容器が爆発することがある。
消火を行う者の保護	消火を行う者は難燃性コート、シールド付きヘルメット、手袋、ゴム製の靴、自給式呼吸器を含めた通常の保護衣を着用する。
消火器具/方法	火災現場から避難し、安全な場所から消火活動を行う。危険を伴わずに火災エリアから容器を動かすことができる場合は取り除く。容器内の圧力が高まらないように水で冷却する。火災により容器の変色やガス漏れ音がする場合は直ちに避難する。
特有の消火方法	水スプレーで未開封の容器を冷却する。火災や爆発が起こった場合はフェュームを吸わないよう注意する。
一般的な火災の危険性	極めて可燃性又は引火性の高いエアゾール

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護 具及び緊急時措置	関係者以外を退避させる。漏出した風上から人を避難させる。清掃時は適切な保護衣、保護具を着用する。蒸気やミストの吸引を避ける。
封じ込め及び浄化の方法及 び機材	喫煙、炎、火花等全ての引火源を取り除く。こぼれた製品から木、紙、油など燃えやすい物を遠ざける。火花の発生しないツールのみを使用する。危険性が無い場合は漏出を止める。こぼれた製品を廃棄する為にバーミキュライト、砂、土等不燃性物質に吸収させて容器に集める。漏出した区域を良く換気する。
環境に対する注意事項	環境への漏出を防ぐ。漏出した場合は地方自治体に連絡する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 安全取扱注意事項

熱源及び引火源から遠ざける。使用後も含め、容器に穴を開けたり加熱したりしない。スプレー缶の底に欠陥がある場合は使用しない。炎や加熱された物質にはスプレーしない。製品使用中及びスプレーした面が乾燥するまでは喫煙しない。管の切断、溶接、はんだづけ、穴あけ、また熱、炎、火花その他引火源への暴露をしない。空容器の再利用をしない。皮膚、眼への接触を避ける。ミストや蒸気を吸引しない。換気の良い場所でのみ使用する。適切な保護具を着用する。使用後は手を洗う。産業環境に気を配る。環境中へ流出しない。

### 安全な保管条件

製品使用/保管時は注意を払う。日光を避け、50℃以上の温度に暴露しないこと。密閉して換気の良いところに保管すること。穴あけ、焼却、破損しないこと。

## 8. 暴露防止措置

### 許容濃度(暴露限界値)

#### US. Workplace Environmental Exposure Level (WEEL) Guides

成分	タイプ	値
1,1 ジフルオロエタン (CAS 75-37-6)	TWA	2700 mg/m <sup>3</sup> 1000 ppm
ジメチルエーテル (CAS 115-10-6)	TWA	1800 mg/m <sup>3</sup> 1000 ppm

### 生物学的限界値

生物学的暴露限界値は設定されていない。

### 設備対策

十分な換気の確保。局所排気及び眼洗浄設備の設置

### 保護具

眼/顔の保護 サイドシールド付き保護メガネまたはゴーグル。

#### 皮膚の保護

手 適切な耐薬品手袋を着用する。

その他 適切な保護衣を着用する。不浸透性のものを推奨。

呼吸器の保護 十分換気できない場合は適切な呼吸器を着用。

熱的危険 必要な場合熱保護衣を着用する。

一般的な衛生事項 製品使用時、飲食や喫煙をしない。眼、皮膚、衣服へ付着しないよう注意する。製品使用后、飲食及び喫煙前の手洗い等、衛生状態に気を配る。保護衣を定期的に洗浄する。

## 9. 物理的及び化学的性質

## 物理状態

形状	エアゾール
色	無色
臭い	かすかなエーテル臭
融点・凝固点	-45.6 °C
沸点又は初留点及び沸騰範囲	入手不可
可燃性	入手不可
爆発下限及び爆発上限界/可燃限界	入手不可
引火点	入手不可
自然発火点	入手不可
分解温度	入手不可
pH	入手不可
動粘性率	入手不可
溶解度	不溶
n オクタノール/水分配係数	入手不可
蒸気圧	入手不可
密度及び／又は相対密度	入手不可
相対ガス密度	入手不可
粒子特性	入手不可

## 10. 危険性情報（安定性・反応性）

反応性	通常の使用、保管、輸送状態で安定で反応性は無い。
化学的安定度	通常の状態ですべて安定
危険有害反応可能性	有害な重合反応は起こらない。
避けるべき条件	熱源、炎、火花、混触危険物との接触。
混触危険物質	アルカリ金属、酸、塩基
有害な分解生成物	製品の分解より刺激性又は有害なヒューム、ガスが発生することがある。フッ化水素、炭素酸化物、ホルムアルデヒド、珪素酸化物、フッ化カルボニル等。

## 11. 有害性情報

## 起こりうる暴露についての情報

吸入	呼吸器系への刺激のおそれ
皮膚	皮膚接触による悪影響は予期されない
眼	眼刺激を起こす

経口 消化管への刺激  
 物理的、化学的、有害性特性に関連した症状 本製品が極高濃度な状態では窒息剤として働くおそれがあり呼吸、脈拍数の増加を引き起こし、疲労感や意識の消失、また不整脈等を誘発するおそれがある。

## 毒物学的影響

## 急性毒性

成分	種	試験結果
ジメチルエーテル CAS 115-10-6)		
急性吸引	LC50	
	マウス	494 ppm, 15 分
	ラット	386 ppm, 30 分 308.5 mg/L 4 時間

\* 製品への評価にはデータとして記載されていない成分が含まれている場合があります。

皮膚の腐食/刺激	入手不可
重篤な眼の損傷/眼刺激	眼刺激のおそれ
呼吸器または皮膚感作性	
呼吸器感作性	入手不可
皮膚感作性	入手不可
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
OSHA 特定規制物質 (29CFR 1910.1001-1050)	記載なし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性 (単回暴露)	眠気やめまいのおそれ
特定標的臓器毒性 (反復暴露)	分類されていない
吸引性呼吸器有害性	入手不可
慢性的影響	長期間の吸引は有害のおそれ

## 12. 環境影響情報

## 生態毒性

成分	種	試験結果
ジメチルポリシロキサン (CAS 63148-62-9)		
水生魚	LC50	
	アメリカナマズ	2.36 - 4.15 mg/L 96hr

\* 製品への評価にはデータとして記載されていない成分が含まれている場合があります。

残留性/分解性	データなし
生態蓄積性	データなし

n-オクタノール/水	分配係数 (log Kow)
1,1-ジフルオロエタン	0.75
ジメチルエーテル	0.1
土壌中の移動性	データなし
その他の有害影響	入手不可

### 13. 廃棄上の注意

廃棄手順	穴あけ、焼却処分、破断しない。製品を水道へ流出してはならない。内容物/容器の廃棄は地域/国/国際的規制に従い行う。
危険廃棄物コード	使用者、生産者及び廃棄物業者間で協議し、廃棄物コードを割り当てること。
残余廃棄物/未使用製品	地域の規制に従う。成分の残留した容器はそのまま保持する。本製品と容器は安全な方法で廃棄しなければならない。
汚染容器	空容器はリサイクル、廃棄には認証された機関で処理されなければならない。空容器は再利用してはならない。

### 14. 輸送上の注意

#### DOT

UN 番号	UN1950
UN 正式品名	引火性エアゾール(容積が 1L を超えないもの)
分類	
等級	2.1 (PGIII)
副次危険性等級	-
ラベル	2.1
容器等級	-
使用者への注意	取り扱いの前に本 SDS を読むこと
特別な対策	N82
容器 特例	306
容器 非バルク	なし
容器 バルク	なし

#### IATA

UN 番号	UN1950
UN 正式品名	引火性エアゾール
分類	-
等級	2.1
副次危険性等級	-

容器等級 -  
環境有害性 No  
ERG コード 10L  
使用者への注意 取り扱いの前に本 SDS を読むこと。旅客機への持ち込みは禁止されている。

## IMDG

UN 番号 UN1950  
UN 正式品名 エアゾール  
分類 2  
等級 -  
容器等級 -  
環境有害性  
海洋汚染物質 No  
EmS F-D S-U  
使用者への注意 取り扱いの前に本 SDS を読むこと

## DOT



## IATA:IMDG



## 15. 適用法令

労働安全衛生法

危険物・可燃性のガス(施行令別表第1第5号)

シリコンモールドリリース P/N: 811-271 811-271-HAZ 811-271-010



船舶安全法	高压ガス・引火性高压ガス
航空法	高压ガス・引火性高压ガス
港則法	高压ガス・引火性高压ガス

## 16. その他の情報

参考文献	本製品の英文 SDS(08/22/2014) : LECO Corporation
	JIS Z7252 (2019) GHS に基づく化学品の分類方法
	JIS Z7253 (2019) GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、 作業場内の表示および安全データシート
化学便覧	: 丸善
職場のあんぜんサイト	: 厚生労働省
NITE 化学物質総合情報提供システム	: 独) 製品評価技術基盤機構

作成：平成13年10月30日

改訂：平成22年3月1日（法令見直し）

平成23年7月11日（住所変更）

平成24年6月15日（法令見直し）

平成29年1月30日（書式改訂、法令見直し）

和4年2月7日（法令見直し、2019年版 JIS 対応）

- \* 記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも万全なものではなく、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。製品の取扱いには十分に注意してください。尚、新たな情報を入手した場合は、追加又は訂正することがあります。